

第1回熊本県災害リハビリテーション推進協議会研修会報告

【概要】

去る、平成27年4月4日、熊本県医師会館2階講堂において、「第1回熊本県災害リハビリテーション推進協議会（熊本JRAT）研修会」を開催した。研修会には熊本県内のリハ関連職種を中心に133名が参加した。基調講演として熊本県医師会の救急災害担当の西芳徳理事より「熊本県の救急医療と災害時の取り組み」、特別講演としてJRAT 栗原正紀代表による「大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会（JRAT）と災害リハ支援チームの組織化」が行われた。また、「災害リハコーディネーター研修」が報告され情報が共有された。

本会は熊本大学病院長で熊本リハビリテーション研究会会長の水田博志整形外科教授、熊本県医師会の救急災害担当の西芳徳理事、地域リハ担当の林邦雄理事、日本リハ病院・施設協会の山鹿眞紀夫理事らが中心となり準備が進められた。加入するリハ関連団体は「熊本県地域リハビリテーション支援協議会」「熊本リハビリテーション研究会」「熊本県医師会」「熊本県理学療法士協会」「熊本県作業療法士会」「熊本県言語聴覚士会」「熊本県老人保健施設協会」「熊本県介護支援専門員協会」「日本義肢装具協会九州支部」「日本義肢装具士協会南日本支部」「熊本県回復期リハビリテーション病棟研究会」「回復期・維持期リハを考える会」などであり、今後事務局は熊本県理学療法士協会が担当する。

【設立までの経緯】

- 2014.3.1～2 : 2013年度JRATリハコーディネーター養成研修会参加
(医師・看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・介護支援専門員)
JRAT基本構想の周知、各県の課題整理、目標の共有と連絡担当者選出
- 2014.3.15 : 長崎JRAT研修会視察(1名)
以降、日本リハ病院・施設協会理事の山鹿医師を中心に現状課題の解決と熊本JRATの発足に向け準備が進められる。
- 2014.8.9～10 : 全国災害リハコーディネーター連携推進委員会・研修会(台風により延期)
- 2014.9.3 : 熊本県回復期リハ病棟研究会でJRAT研修会内容報告
○熊本県における災害リハ支援体制と被支援体制の必要性を提言
- 2014.11.26 : 熊本県地域リハ支援センター研修会
○災害時における地域リハ活動ー九州北部豪雨災害の事例を通じてー
阿蘇地区の豪雨災害時の取り組みの報告
○熊本県の災害医療と災害時の取り組み
JRATでの活動はJMAT登録医師との協働であれば熊本県との協定項目が適用されるとの報告があった。
ただし、協定項目の適用は熊本県からの依頼案件のみ。

- 2014.12.20 : 全国災害リハコーディネーター連携推進委員会・研修会
○各県の現状・課題の確認と共有
- 2015.3.6 : 熊本県災害リハビリテーション推進協議会設立趣意書
○行政、県内リハ施設や関連団体、地域リハ広域支援センター等への広報
- 2015.4.4 : 熊本県災害リハビリテーション推進協議会設立研修会開催
- 2015.4.24 : 設立報告および協力機関登録依頼

【今後の活動予定】

- (1) 協力機関登録依頼と名簿作成、連絡体制の整備
- (2) 年1～2回のチーム研修・訓練など
- (3) 大規模災害時の支援体制の確立
- (4) 地域ごとの被支援体制の構築
- (5) 県民、地域住民への啓発活動
- (6) その他災害リハに関すること

【今後の課題】

今回の設立研修会は、1名につき1000円の参加費と熊本回復期リハ病棟研究会からの支援によって行われた。今後の資金捻出に関しては課題であり検討中。

支援体制については、協力機関名簿を作成し施設ごとにチームを編成、大規模災害リハマニュアルを念頭に研修を行い有事に備える。

被災時は地域ごとに災害や災害弱者の予測状況が異なるため、各地域が被災時に独自にコーディネートできるような体制づくりが必要と考えられる。そのためには、各地域保健所や地域リハビリテーション広域支援センター、地域包括支援センター、それを取り巻く医療機関や介護保険施設との連携構築が必要になる。

また、災害医療コーディネーターをはじめとして、他の団体でも同様の組織体制づくりが行われており、相互協力体制を進める必要がある。

